

# 別府市の幼稚園教育

## —昭和期— (元年～20年)

長 柄 日出代

Kindergarten Education in Beppu in the Showa Period  
(1925～1945)

Hideyo NAGARA

### I. はじめに

大正年間の保育は、その期間が15年と短いにもかかわらず内容的には充実したものであった。

幼稚園令が勅令で出され幼稚園教育が認識された時代でもあったわけである。

昭和に入ってから保育についての概略を日本幼児保育史第4巻に次のように記されている。

#### 昭和前期と保育

昭和に入ると間もなく、わが国最初の地下鉄が上野と浅草の間に開通し(昭和2年)翌3年には最初の衆議院議員普通選挙が行なわれ、またオリンピック大会では織田幹雄等が初めてアムステルダムに空に日章旗をかかげた。たしかに昭和2年に金融恐慌がおこるといようなこともあったが、全体としてこのように国勢があがり、国家は興隆への道を歩みつつけた。

しかし一方、人口の増加等と相まって、明治20年頃から起ってきた国家主義が盛んになり、わが国は軍国主義の道を走るようになった。その伏線として昭和3年治安維持法が改正されて、その最高刑が死刑に変えられ特別高等警察が新設された。

そして昭和6年には満州事変が勃発し、翌

7年には上海事変と5・15事件、昭和11年には2・26事件、翌12年には日支事変、昭和16年には大東亜戦争が開始されるに至った。

このように昭和の時代は国家の興隆への道と軍国主義の道を歩きつづけていくようになるがこれらが保育に及ぼす影響については保育草案や日誌の中からさぐっていききたい。

### II. 昭和前期における幼稚園の設置状況 (昭和前期＝昭和元年～昭和20年)

#### 1. 全国的に見られる幼稚園数と就園率

資料1からは次のようなことが考察される。

全国の園数の合計からみると昭和2年度と昭和18年度との間には、園数で約1.75倍の増加がみられるが昭和12年度より昭和18年度の園数の増減は47都道府県中、増加のみられる県は22県、逆に減少している県は19県、同じ園数の県が6県となっている。

昭和2年度より昭和12年度までは、ほとんどの県で増加しているにもかかわらず昭和18年度には減少している県が多いということは戦争の影響も存在しているのではと推察される。

しかし、園数は減少しても就園率が伸びているということは普及上の前進がうかがえる。

大分県においては九州地区の中で就園率が全



## 資料2 昭和19年度と昭和20年度の幼稚園の比較

| 都道府県名 | 昭和19年度 |       |       | 昭和20年度 |     |       | 前年比   |
|-------|--------|-------|-------|--------|-----|-------|-------|
|       | 国公立    | 私立    | 計     | 国公立    | 私立  | 計     |       |
| 東京    | 62     | 266   | 328   | 1      | 0   | 1     | △ 327 |
| 神奈川   | 6      | 42    | 48    | 2      | 18  | 20    | △ 28  |
| 大阪    | 99     | 93    | 192   | 95     | 55  | 150   | △ 42  |
| 山口    | 6      | 44    | 50    | 0      | 0   | 0     | △ 50  |
| 大分    | 21     | 14    | 35    | 21     | 11  | 32    | △ 3   |
| 全国合計  | 721    | 1,290 | 2,011 | 645    | 806 | 1,451 | △ 560 |

## 2. 別府市における幼稚園の設置状況

明治34年に北幼稚園が誕生し、ついで大正15年に北幼稚園を南北に分離して南幼稚園が誕生、その後、昭和に入り昭和13年に3園、昭和16年に1園と計4園が設立されている。昭和48年刊行の別府市誌(722頁)によると、幼稚園の設立については小学校に併設するという基本方針により設立されたと述べられている。

私立幼稚園は大正年間に3園設立されている即ち、寺院住職により創立された園が2園とキリスト教関係の園が1園で計3園設立されているが、その中の亀川幼稚園は亀川町が別府市に編入された昭和10年から別府市に組みこまれたことになる。

- (1) 別府市立北幼稚園
- (2) 別府市立南幼稚園
- (3) 私立泉都幼稚園
- (4) 私立眞愛幼稚園
- (5) 私立亀川幼稚園

以上5園については、別府市の幼稚園教育の大正期に記載しているので、今回は昭和20年までに設立された幼稚園について調べてみると次の4園が設立されている。

- (6) 別府市立野口幼稚園

・昭和13年4月10日

別府市立野口尋常小学校に附設創立。

小学校の一部を使用

昭和13年度修了園児数、男児30名、女児23名。

※昭和23年3月 幼稚園舎落成

- (7) 別府市立蓮田幼稚園

・昭和13年4月3日

別府市立蓮田幼稚園と称し、別府市立蓮田小学校の一隅に設置される。

昭和13年度修了園児数、男児17名、女児14名。

※昭和27年2月10日 幼稚園舎2部屋建築

※昭和39年7月 新園舎竣工

※昭和40年4月1日 浜脇幼稚園と改称

※昭和57年5月10日 園舎焼失(昭和54年)のため新園舎竣工

- (8) 別府市立西幼稚園

・昭和13年4月8日

別府市立西小学校へ附設創立

昭和13年度修了園児数、男児35名、女児27名。

・昭和18年7月

園舎落成

※昭和25年11月 南園舎増築

- (9) 別府市立朝日幼稚園

・昭和16年4月

私立別府朝日幼稚園として開設、別府市立朝日尋常小学校に附設される。

昭和16年度修了園児数、男児36名、女児36名。

・昭和17年4月

市立に移管、別府市立朝日幼稚園となる。

## Ⅲ. 昭和前期の保育の概要と別府市の保育

## 1. 幼稚園令制度に伴う保育の目的

大正15年4月22日に勅令として幼稚園令が制定されたが、保育の目的を次のように示している。

ア. 幼児の心身を健全に発達させ善良なる性情を涵養すること。

イ. 家庭教育を補うこと。

昭和前期では幼児教育は家庭教育を本体として、これを補うものとされたのである。

## 2. 幼稚園令制定に伴う保育内容について

従来の遊戯・唱歌・談話・手技のいわゆる保育4項目に「観察」が加えられて保育5項目となった。

「観察」については保育事項に加えることにもろ手を上げて賛成する和田実の考え方や、一つの項目とせずに幼児の全生活で観察させることを主張した倉橋惣三の考え方、又小学校教育の理科のようでないことを強調した文部省の督学官、森岡常蔵など、それぞれ異なる意見が存在していたことも興味深いことである。

幼稚園令公布以前に幼稚園では観察的なものは取り入れられていたようである。明治13年に大阪市に創設された愛珠幼稚園の保育規程の中に「庶物語」として次のように述べられている

庶物語ハ卑近ノ実物ニ抛リテ物名、形質、

部分効用等ヨリ発生製造ノ如何ヲ知ラシメ注意観察知覚ノ諸力ヲ養フヲ旨トス。

庶物語の内容としては観察的なものを多く取り入れているようで、更に大正時代に入ると草花の栽培や小動物の飼育を通して、それらのもに接する機会をもったり、食べ物の話や自然界の話等をとり入れている。

別府市の幼稚園においても明治、大正、昭和の保育草案に庶物、又は庶物語として記載されている。

保育4項目から保育5項目になり、その上「等」という表現がなされており、この「等」という言葉のもつ意味は、各幼稚園において保育5項目の他に適当と考えられるものを保育内容として選択し指導すること認めたことで、保育項目の自由さを許容したものである。

### 資料3

幼稚園令（大正十五年四月二十二日）  
勅令第七十四号

第一条 幼稚園ハ幼児ヲ保育シ其ノ心身ヲ健全ニ発達セシメ善良ナル性情ヲ涵養シ家庭教育ヲ補フヲ以テ目的トス

第二条 市町村、市町村学校組合及町村学校組合ハ幼稚園ヲ設置スルコトヲ得

市町村、市町村学校組合及町村学校組合ハ前項ノ規定ニ依リ幼稚園ヲ設置スル場合ニ於テ費用ノ負担ノ為学区ヲ設クルコトヲ得

第三条 私人ハ本令ニ依リ幼稚園ヲ設置スルコトヲ得

第四条 幼稚園ハ小学校ニ附設スルコトヲ得

第五条 幼稚園ノ設置廃止ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六条 幼稚園ニ入園スルコトヲ得ルモノハ三歳ヨリ尋常小学校就学ノ始期ニ達スル迄ノ幼児トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ三歳未満ノ幼児ヲ入園セシムルコトヲ得

第七条 幼稚園ニハ園長及相当員数ノ保姆ヲ置クヘシ

第八条 園長ハ園務ヲ掌理シ所属職員ヲ監督ス

第九条 保姆ハ幼児ノ保育ヲ掌ル

保姆ハ女子ニシテ保姆免許ヲ有スル者タルヘシ

第十条 特別ノ事情アルトキハ文部大臣ノ定ムル所リ依リ保姆免許状ヲ有セサル女子ヲ以テ保姆ニ代用スルコトヲ得

第十一条 保姆免許状ハ地方長官ニ於テ保姆検定ニ合格シタル者ニ之ヲ授与シ全国ニ通シテ有効トス

保姆検定ハ小学校教員検定委員会ニ於テ之ヲ行フ

保姆ノ検定及免許状ニ関スル費用ハ北海道地方費又ハ府県ノ負担トス

保姆ノ検定及免許状ニ関スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二条 幼稚園ノ職員ニ関シテハ小学校令第四十四条乃至第五十条ノ規定ヲ準用ス

第十三条 幼稚園ノ設置廃止、保育項目及其ノ程度、編制並設備ニ関スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四条 幼稚園ニ於テ保育料入園料等ヲ徴収セムトスルトキハ公立幼稚園ニ在リテハ管理者ニ於テ私立幼稚園ニ在リテハ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ経テ其ノ額ヲ定ムヘシ之ヲ変更セムトスルトキ亦同シ

附 則

本令施行ノ際現ニ存シ小学校令ニ依リ設置セラレタル幼稚園ハ本令ニ依リ設置セラレタルモノト看做ス本令施行際現ニ幼稚園ノ保姆ノ職ニ在ル者ニシテ小学校ノ本科正教員タルベキ資格ヲ有スルモ

|  |  |
|--|--|
| <p>ノニハ地 方長官ハ保姆検定ヲ経ズシテ保姆免許状ヲ授与スルコトヲ得</p> <p>幼稚園令施行規則（大正十五年四月二十二日）<br/>文部省令第十七号</p> <p>第一条 幼稚園ニ於テハ幼稚園令第一条ノ旨趣ヲ遵守シテ幼児ヲ保育スヘシ</p> <p>幼児ノ保育ハ其ノ心身発達ノ程度ニ副ハシムヘク其ノ会得シ難キ事項ヲ授ケ又ハ過度ノ業ヲ為サシムルコトヲ得ス</p> <p>常ニ幼児ノ心情及行儀ニ注意シテ之ヲ正シクセシメ又常ニ善良ナル事例ヲ示シテ之ニ倣ハシメムコトヲ務ムヘシ</p> | <p>第二条 幼稚園ノ保育項目ハ遊戯、唱歌、観察、談話、手技等トス</p> <p>第三条 幼稚園ノ幼児数ハ百二十人以下トス但シ特別ノ事情アルトキハ約二百人マテニ増スコトヲ得</p> <p>第四条 保姆一人ノ保育スル幼児数ハ約四十人以下トス</p> <p>第五条 幼稚園ニ於テハ年齢別ニ依リ組ノ編制ヲ為スヲ常例トス</p> <p>第六条 幼稚園ニ於テハ保育項目、保育時数、組数等ニ応シ必要ナル員数ノ保姆ヲ置クコトヲ要ス 以下略</p> |
|--|--|

資料4 昭和13年度北幼稚園保育草案記入例

| 考 備     | 省 反 | 週 第 |     |       |     |     |     |     | 月 |
|---------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|---|
|         |     | 日   | 土 日 | 金 日   | 木 日 | 水 日 | 火 日 |     |   |
| 別府市北幼稚園 |     | 画キ方 | 会 集 | 修身談話  | 会 集 | 庶 物 | 会 集 | 第一次 |   |
|         |     | 遊 戯 | 手 技 | 唱歌・遊戯 | 手 技 | 唱 歌 | 手 技 | 第二次 |   |
|         |     |     |     |       |     |     |     | 第三次 |   |
|         |     |     |     |       |     |     |     | 第四次 |   |

3. 別府市における保育内容の概要

明治34年に創設された北幼稚園の保育草案は大正期と内容的には変化がみられないが、昭和13年に創設された西幼稚園の保育草案は形式的には北幼稚園と同じであるが内容的には異なっている点も見受けられる。

昭和13年度の北幼稚園と西幼稚園の保育草案の記入例を示すと次のようである。西幼稚園

は5月中旬までとそれ以降の草案の内容が異なっている。5月中旬以降の草案には第4次のところとその日の反省等が記入されている。

(資料4、資料5、資料6)

(1) 保育項目と内容について

①保育項目について

保育項目について北幼稚園と西幼稚園を

資料5 昭和13年度西幼稚園保育草案記入例 (5月中旬まで)

| 考 備     | 省 反 | 週 月  |       |       |      |       |      |       | 月   |
|---------|-----|------|-------|-------|------|-------|------|-------|-----|
|         |     | 日    | 土 日   | 金 日   | 木 日  | 水 日   | 火 日  |       |     |
| 別府市西幼稚園 |     | 自由遊び | 自由遊び  | 自由遊び  | 自由遊び | 自由遊び  | 自由遊び | 自由遊び  | 第一次 |
|         |     | 談話   | 唱歌・遊戯 | 観察    | 修身談話 | 唱歌・遊戯 | 九時   | 談話    | 第二次 |
|         |     | 自由遊び | 自由遊び  | 自由遊び  | 自由遊び | 自由遊び  |      | 自由遊び  | 第三次 |
|         |     | 手技   | 手技    | 唱歌・遊戯 | 手技   | 手技    | 十一時半 | 唱歌・遊戯 | 第四次 |

資料6 昭和13年度西幼稚園保育草案記入例 (5月中旬以降)

| 考 備     | 省 反 | 週 月   |       |      |      |       |      |       | 月   |
|---------|-----|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-----|
|         |     | 日     | 土 日   | 金 日  | 木 日  | 水 日   | 火 日  |       |     |
| 別府市西幼稚園 |     | 談話    | 唱歌・遊戯 | 観察   | 修身談話 | 唱歌・遊戯 | 八時半  | 談話    | 第一次 |
|         |     | 自由遊び  | 自由遊び  | 自由遊び | 自由遊び | 自由遊び  |      | 自由遊び  | 第二次 |
|         |     | 唱歌・遊戯 | 手技    | 手技   | 手技   | 手技    | 十一時半 | 唱歌・遊戯 | 第三次 |
|         |     |       |       |      |      |       |      |       |     |

比較してみると次のようなことがわかる。

○北幼稚園

会集・遊戯・唱歌・手技・談話・庶物といった項目が見受けられ、これらは明治、大正の時代の草案と同じである。

○西幼稚園

遊戯・唱歌・談話・手技・観察に自由遊びが加えられている。

北幼稚園の保育項目の中には「観察」という項目が記入されていないが、庶物という項目の具体的な内容をみると観察の内容と同じように受けとめられるものが多い。したがって保育5項目と同じということがいえそうである。

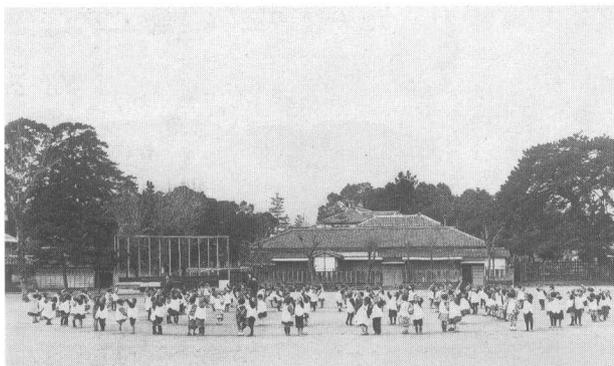
西幼稚園の草案の中には「会集」という表現は、ほとんど見受けられないが「自由遊び」というものが必ず一日の中に1回～

資料7の(1) 入園当初

週 第  
月 四

| 考 備                                  | 省 反  | 日六十                                | 土 日五十   | 金 日四十                                | 木 日三十   | 水 日二十   | 火 日一十   | 月  |     |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|---|--------------------------------------|---|---|---|--|-----|
| <p>で、親と気長く力を合せて徐々に馴らして行く様に努力したい。</p> | <p>遊具道具の少ない事、手技の材料の不揃ひの事。まだ子供の名前を全部覚えて了はな<br/>ない事等で子供の方にも多少の無理がある事とお氣の毒に思つた。けれども生れて始<br/>めて家庭を親をはなれて子供だけの団体生活に入つて来た子供達は、たとひ道具は少<br/>なくとも、子供同志お友達だけで遊べるといふ事が、どんなに嬉しい事であるか分か<br/>らないと思ふ。それだけに、遊ぶ時保母は、子供になり切つて了ふ事が最も大切な事<br/>であると思つた。親を離れない子供一名に一番苦心。一人は一人息子。一人は未っ子</p> | 自由遊び<br>カケッコ・鬼ゴツ<br>カゴメ<br>等       | 自由遊び<br>カクレンボ<br>ヒョウタンボック<br>リコ                   | 自由遊び<br>オママゴト・兵隊<br>ゴッコ・カゲフミ<br>鬼等   | 自由遊び<br>オママゴト・兵隊<br>ゴッコ・カゲフミ<br>鬼等                      | 自由遊び<br>オママゴト・兵隊<br>ゴッコ・カゲフミ<br>鬼等                      | 自由遊び<br>オママゴト・兵隊<br>ゴッコ・カゲフミ<br>鬼等                      | 第一次  |     |
|                                      |  | 談話<br>七匹ノ子羊                        | 唱歌・遊戯<br>結ンテ・先生オ早<br>棟(長イノデ半分<br>教ヘル)             | 観察<br>身体ニツイテ<br>名称・数・色・働<br>ラキ・最後ニ注意 | 自由遊び<br>保母ヲ中心ニ子供<br>ノ慾スル遊ビヲナ<br>ス                       | 自由遊び<br>兵隊ゴッコ・カゴ<br>メ・鬼ゴッコ・ハ<br>ナイチモンメ                  | 自由遊び<br>園内及ビ校内見学<br>奉安殿・表門・運<br>動場・外廻り<br>見学及ビ注意ヲナ<br>ス | 園内巡覽(整列)<br>室内・土間・水道<br>・昇降口・樹木<br>・出入門・才庭・便<br>所  | 第二次 |
|                                      |  | 自由遊び<br>影フミ・繪本・兵<br>隊ゴッコ・鬼ゴツ<br>コ  | 自由遊び<br>遊ビ年ヲ自然ニス<br>キツプ・ホツプヲ<br>教ヘル               | 自由遊び<br>保母ヲ中心ニ子供<br>ノ慾スル遊ビヲナ<br>ス    | 自由遊び<br>兵隊ゴッコ・カゴ<br>メ・鬼ゴッコ・ハ<br>ナイチモンメ                  | 自由遊び<br>園内及ビ校内見学<br>奉安殿・表門・運<br>動場・外廻り<br>見学及ビ注意ヲナ<br>ス | 自由遊び<br>カゴメ・汽車アソ<br>ビ・鬼ゴッコ等                             | 自由遊び<br>カゴメ・汽車アソ<br>ビ・鬼ゴッコ等                        | 第三次 |
|                                      |  | 唱歌・遊戯<br>ムスンデ・先生オ<br>早棟・オヤスミノ<br>歌 | 手技(織リ紙)<br>基本摺ミ方ノ後封<br>筒入レヲ作ラセ手<br>技帳第一頁ニ貼ラ<br>セル | 唱歌・遊戯<br>ムスンデヒライテ                    | 手技(自由画)<br>クレイオンノ色ヲ<br>教ヘル。空・土・<br>山・木ノ葉・花ノ<br>色ヲ教ヘ画カセル | 手技(織リ紙)<br>一枚與ヘ(才山・<br>御本・四角・筆・<br>色裏表・基本ヲ教<br>ヘル)      | 唱歌・遊戯<br>子供ノ知レル歌<br>僕ハ軍人・鳩ボツ<br>ボオ手ツツナイデ<br>・桃太郎サン      | 唱歌・遊戯<br>子供ノ知レル歌<br>僕ハ軍人・鳩ボツ<br>ボオ手ツツナイデ<br>・桃太郎サン | 第四次 |

別府市西幼稚園



全児遊戯 昭和7年北幼稚園

2回組み込まれている。(資料7の(1)~7の(5))

北幼稚園と西幼稚園の保育草案の記入例から考察される相違点は、北幼稚園は「会集」が週の中に3回程組み込まれているが「自由遊び」の記入はみられない。一方、西幼稚園は「自由遊び」は毎日のように行われているが「会集」は、ほとんど記入されていない点であろう。

同じ昭和13年度の保育草案であつても、園によって異なることがわかる。

②具体的な内容について

西幼稚園の保育草案から具体的な内容をさぐっていきたい。

それぞれの保育項目の具体的な内容を4月から12月までの保育草案からまとめる

資料7の(2) 5月

週六第  
月五

| 考 備                    | 省 反   | 日 一 二                               | 土 日 〇 一  | 金 日 九 十                                      | 木 日 八 十  | 水 日 七 十   | 火 日 六 十   | 月   |   |     |
|------------------------|---|-------------------------------------|--|--|--|---|---|---|---|-----|
| よく行進。愛護デーの行進より余程よくなった。 | 今週の予定案は、身体検査・旗行列等のため殆んど変更して予定が大分遅れて了った。季節はずん 過ぎてゆく。それに歩調を合せてゆきたいと思ふが時間の都合上、と かく遅れ勝になるのは残念である。イチゴの粘土はまだ来週に廻しても遅くはないと 思ふ。旗行列・月曜日の郊外保育が雨天のため中止となつて代りに思いがけない旗行 列が出来て子供は大よろこび。時代を認識させ、兵隊さんへ心から感謝を捧げて元氣 | 談話<br>會集、諸注意ノ後<br>ユース<br>二<br>間カセルニ | 唱歌・遊戯<br>ロバサン・イチゴ<br>カハイイイ子供・オ<br>友達           | 観察<br>先週榎ヘタ妻ノ芽<br>ヲ観察ノ後家族ニ<br>ツイテ観念ヲアタ<br>ヘル | 自由遊び<br>砂場アソビ・カク<br>等子供ノ望ムモノ                     | 修身談話<br>會集、東方通掛、<br>種々ノ注意ノ後ア<br>スリト鳩ノオ話ヲナ<br>ス      | 自由遊び<br>兵隊ゴッコ<br>砂場アソビ<br>等                         | 自由遊び<br>砂場遊び、自由ニ<br>カケマハラセ<br>カケマハラセ<br>ル・練習ヲ作<br>ル・練習ヲ作<br>ル | 第一次   |     |
|                        |   | 自由遊び<br>別府公園へ連レテ<br>行ク              | 自由遊び<br>スキップ・ホッ<br>オ友達・楽シク白<br>由ニ              | 自由遊び<br>砂場アソビ・カク<br>等子供ノ望ムモノ                 | 自由遊び<br>砂場アソビ<br>等                               | 自由遊び<br>砂場遊び、自由ニ<br>カケマハラセ<br>カケマハラセ<br>ル・練習ヲ作<br>ル | 自由遊び<br>砂場遊び、自由ニ<br>カケマハラセ<br>カケマハラセ<br>ル・練習ヲ作<br>ル | 自由遊び<br>砂場遊び、自由ニ<br>カケマハラセ<br>カケマハラセ<br>ル・練習ヲ作<br>ル           | 第二次   |     |
|                        |   | 唱歌・遊戯<br>公園門ニテ遊バセ<br>察ヲナス           | 手技<br>粘土使用<br>イチゴノ歌ノ後                          | 唱歌・遊戯<br>ロバサン<br>オ友達・イチゴ                     | 手技<br>切抜練習<br>門型紙ヲ與ヘテ切<br>ラシム                    | 手技<br>切抜練習<br>門型紙ヲ與ヘテ切<br>ラシム                       | 手技<br>第二頁   | 手技<br>第二頁   | 唱歌・遊戯<br>イチゴノ歌<br>イチゴノ歌                                   | 第三次 |
|                        |   | 午後・時ヨリ徐州陥<br>落ノ祝賀旗行列ニ參<br>加         | 二時限目ノ手技ヲ中<br>止シテ講堂ニテ体重<br>ヲ量ルソノ後イアノ<br>ニテ唱遊ヲナス | 二時限目ノ身長・胸<br>ヲ量ル                             | 小学校遠足のため不<br>在、二時限目に前庭<br>にて自由に行き廻ら<br>せ思ひきり遊ばせた | 小学校遠足のため不<br>在、二時限目に前庭<br>にて自由に行き廻ら<br>せ思ひきり遊ばせた    | 手技変更<br>ヒゴニ腕豆を用ひて<br>風車を製作せし<br>に持帰らせた              | 手技変更<br>ヒゴニ腕豆を用ひて<br>風車を製作せし<br>に持帰らせた                        | 雨天につき神社参拜<br>中止。室内のみにて<br>時間を経るため<br>定をかへて明日の<br>リエを今日にした | 第四次 |

別府市西幼稚園

資料7の(3)5月

週七第  
月五

| 考備      | 省反   | 日八二  | 土日八七   | 金日六二   | 木日五二   | 水日四二   | 火日三二   | 月  |  |     |
|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|
| 別府市西幼稚園 | 男の子供達の最も、あこがれてゐた陸・海軍記念日。感謝の念を深めた事と思ふ。何につけ感ずる事は、子供達の戦争に対する気持の深く痛切である事でそれが自由遊びには兵隊ごっこ、砂場遊びには私共の気付けか細い観察がなされて居て感心させられる。朝毎になす東方遙拝と共に「兵隊さんありがとう、早く元気で帰つて下さい。」との可愛らしい折りも子供の胸には、強くひびくらしい。軍艦の名前・長距離飛行機等よく知つてゐて、今更時代の子供といふ感を深くする。 | 談話<br>カチ山  | 海軍記念日<br>東方遙拝談話<br>出来レバ神社参拝  | 唱歌・遊戯<br>私ノ好キナ水兵サ<br>ン日ノ丸行進曲                                       | 観祭<br>軍艦ニ就イテ名称<br>働ラキ海軍                          | 修身談話<br>天皇陛下(東方遙<br>拝)兵隊サンアリ<br>ガトウ          | 唱歌・遊戯<br>私ノ好キナ水兵サ<br>ン日ノ丸行進曲<br>ノマネ・イチチゴ     | 談話<br>東方遙拝 ラジオ<br>体操ノ後赤頭布チ<br>ヤン             | 第一次  |     |
|         |  | 自由遊び<br>水源地へ園外保育   | 唱歌・遊戯<br>私ノ好キナ水兵サ<br>ン日ノ丸行進曲                                       | 自由遊び<br>自由二遊ハセル<br>砂場・椅子トリ・<br>カケッコ・スマウ<br>トリ                      | 自由遊び<br>自由二遊ハセル<br>砂場・椅子トリ・<br>カケッコ・スマウ<br>トリ    | 自由遊び<br>ゲームトリ<br>椅子トリ遊ビ<br>カミナリアソビ           | 自由遊び<br>子供ノ怒スル遊ビ                             | 自由遊び<br>子供ノ怒スル遊ビ                             | 自由遊び<br>スキップ・ホップ<br>兵隊アソビ・砂場<br>ゴッコ・ママゴト<br>ソノ他イロ  | 第二次 |
|         |  | 唱歌・遊戯<br>兵隊サンカハイイイ子<br>供ノ肩タタキ・人形<br>兵サン<br>私ノ好キナ水<br>兵サン | 手技<br>海軍旗製作<br>オ土産ニ持帰ラセ<br>ル                                       | 手技<br>海軍旗製作<br>オ土産ニ持帰ラセ<br>ル                                       | 手技<br>軍艦製作                                       | 手技(厚紙細工)<br>兵隊サン製作                           | 手技(厚紙細工)<br>兵隊サン製作                           | 手技(厚紙細工)<br>兵隊サン製作                           | 唱歌・遊戯<br>私ノ好キナ水兵サ<br>ン・イチゴ・ロバ<br>サン肩タタキ・カ<br>ハイ・子供 | 第三次 |
|         |  | 講話ニテハジメテビ<br>ノノ自由アソビ二時限日<br>ノノ自由アソビ二時限日<br>ノノ自由アソビ二時限日   | 一時限目ニ談話・唱<br>歌・遊戯・手技ヲナ<br>シ二時限目ニ八坂神<br>社ニ参拝シ海軍サン<br>ノ武軍長久ヲ祈ル<br>ニテ | 一時限目ニ談話・唱<br>歌・遊戯・手技ヲナ<br>シ二時限目ニ八坂神<br>社ニ参拝シ海軍サン<br>ノ武軍長久ヲ祈ル<br>ニテ | 軍艦ノ中央ニ飛行機<br>軍艦ノ飛行船ヲ扱ッ<br>テボスターニナス。<br>大ヨロコビテアツタ | 二時限目ノ自由遊ビ<br>ハ前庭使用・広イ日<br>テ思フ様トビ廻リ日<br>光ニ親シム | 二時限目ノ自由遊ビ<br>ハ前庭使用・広イ日<br>テ思フ様トビ廻リ日<br>光ニ親シム | 二時限目ノ自由遊ビ<br>ハ前庭使用・広イ日<br>テ思フ様トビ廻リ日<br>光ニ親シム | 手技帳ヲ集メ検査ヲ<br>シテ欠席多ノタメ<br>ニテナイモノニ補<br>ヒ足ス           | 第四次 |

資料7の(4)6月

週九第  
月六

| 考備      | 省反  | 日一   | 土日十  | 金日九  | 木日八  | 水日七  | 火日六  | 月  |  |  |
|---------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 別府市西幼稚園 | 月曜日には「今週こそは」といろいろ計画もたてるし多くの抱負も感じているが上曜日(一週間を反省して見て)「之で充分だ、満足」と感じた事が一度でもあるならうか。何かしら之で「いか」といふ不安が絶へない感じがする。手技・唱歌・その他は殆ど予定通りに進んでも、それは第...の問題で何より幼児の生活態度、それ自身に指導必ずしも小学校式に終って規則正しく守らねばならない事はなくとも、幼児に適した生活訓練を型にはめて了はず、自由な伸び伸びとした気分の中に自然に納得させる事が出来たらと思ふ。何より先ず保母自身の修養保母の心はそのまゝ幼児に反映する。以心伝心が保育の中心である。幼児に対する時は如何なる場合も他念を捨てて幼児になり切り切らねばならぬ。 | 談話<br>人梅ニ就イテ   | 唱歌・遊戯<br>時計(ソノ他)<br>時ノ記念日  | 朝顔<br>朝顔   | 観祭<br>朝顔   | 修身談話<br>モノグサ太郎<br>自分ノ事ハ自分ヲ                       | 唱歌・遊戯<br>ホタル<br>セントク                             | 談話<br>ボロボコ<br>誕生会(女子一名)                          | 第一次  |  |
|         |   | 自由遊び<br>雨天ノ場合ハ石板<br>使用・絵本回覽                                  | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時  | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時  | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時                            | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時                            | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時                            | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時                            | 自由遊び<br>自由遊ビ<br>時計は何時                            | 第二次  |
|         |   | 唱歌・遊戯<br>トケイ・ホタル・<br>レントク・ボール<br>ソノ他イロ                       | 手技<br>摺紙<br>時計   | 手技<br>摺紙<br>時計   | 手技<br>共同製作<br>大物水族館                              | 手技<br>共同製作<br>大物水族館                              | 手技<br>共同製作<br>大物水族館                              | 手技<br>共同製作<br>大物水族館                              | 唱歌・遊戯<br>ホタルノ貼紙<br>行進トレース                        | 第三次  |
|         |   | 入梅ノ日テアツタガ<br>雨ハ降ラス久シ振り<br>ニ外ニ出テ遊ビ何ト<br>ナク生活全体が活氣<br>ツイタ様デ嬢シイ | 雨天ニ付キ自由遊ビ<br>ハ石板使用・人形ア<br>ソビ等時計ノ手技ハ<br>ソニナシ見方・長針<br>時間ノ見方・長針<br>針等ニツイテ話ス | 雨天ニ付キ自由遊ビ<br>ハ石板使用・人形ア<br>ソビ等時計ノ手技ハ<br>ソニナシ見方・長針<br>時間ノ見方・長針<br>針等ニツイテ話ス | 雨天<br>室内ノミニテ遊ブタ<br>メ運動不足ニナリ元<br>氣ノヤリ場ニ困ツテ<br>シマウ | 雨天<br>室内ノミニテ遊ブタ<br>メ運動不足ニナリ元<br>氣ノヤリ場ニ困ツテ<br>シマウ | 雨天<br>室内ノミニテ遊ブタ<br>メ運動不足ニナリ元<br>氣ノヤリ場ニ困ツテ<br>シマウ | 雨天<br>室内ノミニテ遊ブタ<br>メ運動不足ニナリ元<br>氣ノヤリ場ニ困ツテ<br>シマウ | 雨天<br>室内ノミニテ遊ブタ<br>メ運動不足ニナリ元<br>氣ノヤリ場ニ困ツテ<br>シマウ | 月曜日ハ毎週何トナ<br>ク着カズ日保育ノ<br>ムツカシイ日保育ノ<br>談話ボロボコ大キイ<br>球 |

資料7の(5) 10月

週 三 二 第  
月 十

| 考 備  | 省 反  | 日二二  | 土 日一二              | 金 日十二   | 木 日九十                    | 水 日八十                | 火 日七十                           | 月                        |  |     |
|--|--|--|--------------------|---|--------------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|--|-----|
| 保母ノ依心伝心何ヨリ保母ハ自ラ強ク反省ヘキテアル。アノ柔カイ延ビ様 トスル心ヲカツケ子供等ノタメニ小サキ太陽トナラネバナラス。保母ノ務メノ重大サラ思フ時コレナイイノカト自ラノ足ラザル事ヲ恥カシク思フ。 | 今週ハ神嘗祭氏神祭、典等ノ行事多く、敬神ノ念殊ニ事変下ニ於ケル国民一致ノ気分ニ幼児ヲモ強クフレ得テ、ソノ小サイ胸ニヒビイタ愛國ノ気持ガヤガチ一國ヲ背負フ御園ノ人トナル、力強イ基礎トナルデアラウ、思ヘハ一日モ一刻モオロソカニ出来ナイ、事変下ノ園デアアル。コノ時代ニ培ハレタ精神ガソノ一人ノ胸ヲ永久ニ去ラナイ最初ノ強イ印象ヲ事変ニ結ビツケ、ヨリ強イ止シイ愛國ノ子供ヲ育てタイ。先ツ保母ノ依心伝心何ヨリ保母ハ自ラ強ク反省ヘキテアル。アノ柔カイ延ビ様 トスル心ヲカツケ子供等ノタメニ小サキ太陽トナラネバナラス。保母ノ務メノ重大サラ思フ時コレナイイノカト自ラノ足ラザル事ヲ恥カシク思フ。 | 談話<br>ニコニコダルマサ<br>ン(幼児ノ教育)   | 自由遊び<br>水源池へ園外保育   | 自由遊び<br>前庭ニテカケッコ<br>・カゴメ・ヒライ<br>タ・リレー等ヲナ<br>ス | 自由遊び<br>第一次ニ引続イテ<br>園外ニテ | 観察<br>自然庶物<br>(園外保育) | 氏神祭典<br>午前八時ヨリ参拝                | 唱歌・遊戯<br>既習教材<br>カゾ(歌全部) | 神嘗祭ニ付キ休園   | 第一次 |
|  |  | 自由遊び<br>水源池へ園外保育   | 手技<br>厚紙細工<br>立體カメ | 手技<br>ヌリ絵<br>運動会ボールナゲ                         | 自由遊び<br>第一次ニ引続イテ<br>園外ニテ | 氏神祭典<br>午前八時ヨリ参拝     | 談話<br>ニコニコダルマサ<br>ン・運動会ノ思ヒ<br>出 | 手技<br>自由画<br>運動会ノ自由発表    | 運動会モ終リ、止ム<br>ヲ得ズ速レニノアツ<br>ク手板ニモカフハ<br>充分カラ注イテ補ヒ<br>タイト思フ | 第二次 |
|  |  | 水源池ニテ水・砂・<br>住宅ノソノ他ヘノ配<br>ナシテ帰園  | 手技<br>厚紙細工<br>立體カメ | 手技<br>ヌリ絵<br>運動会ボールナゲ                         | 自由遊び<br>第一次ニ引続イテ<br>園外ニテ | 氏神祭典<br>午前八時ヨリ参拝     | 談話<br>ニコニコダルマサ<br>ン・運動会ノ思ヒ<br>出 | 手技<br>自由画<br>運動会ノ自由発表    | 運動会モ終リ、止ム<br>ヲ得ズ速レニノアツ<br>ク手板ニモカフハ<br>充分カラ注イテ補ヒ<br>タイト思フ | 第三次 |
|  |  | 快ユクバカリ晴レタ<br>秋空ノ下ヲ列ヲナシ<br>テ水源池ヘ赴ク。高<br>台カラノ見ハラシハ<br>格別デ、観察モ出来<br>ヨイ一日デアッタ<br>ヨ | 手技<br>厚紙細工<br>立體カメ | 手技<br>ヌリ絵<br>運動会ボールナゲ                         | 自由遊び<br>第一次ニ引続イテ<br>園外ニテ | 氏神祭典<br>午前八時ヨリ参拝     | 談話<br>ニコニコダルマサ<br>ン・運動会ノ思ヒ<br>出 | 手技<br>自由画<br>運動会ノ自由発表    | 運動会モ終リ、止ム<br>ヲ得ズ速レニノアツ<br>ク手板ニモカフハ<br>充分カラ注イテ補ヒ<br>タイト思フ | 第四次 |

別府市西幼稚園

と次のようになる。

○自由遊び

ボール遊び、集団遊び、ゲーム遊び、鬼ごっこ、砂場遊び、ママゴト、積木、神社参拝、園外保育、絵本を見る、ブランコ、スベリ台、兵隊ごっこ、草花の手入れ、運動具使用等の内容がみられる。

○唱歌・遊戯

季節や行事等に即した歌が多いが、僕は軍人、私の好きな水兵さん、兵隊さんの汽車、チッチャイ兵隊さん、おちばの兵隊さん、日の丸行進曲、君が代等軍人に関する歌が多い。

「僕は軍人」のうた

僕は軍人大好きよ

今に大きくなったなら

勲章さげて剣さげて

お馬に乗ってハイドウドウ

○談話

童話、季節や行事に関するお話、日曜日

の自由発表、生活発表等が組みこまれている。海軍記念日についてのお話も5月に位置づいていて、手技の内容とも関連をもっている。

○修身談話

道徳的なお話が多い。注意事項もこの中に組みこまれている。東方遙拝や天皇陛下のお話、兵隊さんありがとう、応召家族への心盡し、兵隊さんご苦労様といった内容が、今までの内容と異なるようである。

○手技

自由画、織紙、ぬり絵、粘土、画き方、繋ぎ方、厚紙細工等に大別されるが、やはり兵隊さん製作とか軍盤製作、海軍旗製作又、着替替え人形の製作では男子は兵隊さんというように軍人に関する内容が含まれている。

○観察

身体、衣服、草木、小動物、果物、天体についての観察や説明が中心であるが、軍

艦の名称・働きや乃木大将のお話なども組み込まれていることがわかる。

昭和3年には観察絵本として「キンダーブック」が発行され毎月1冊ずつ出版された。

資料8 観察絵本 キンダーブック(昭和11年) ヤサイ



以上、保育の具体的な内容から考察するとそれぞれの項目の中に軍人に関すること、東方遙拝等、今までの保育内容と異なった面が見受けられる。特に5月の海軍記念日に関するお話や製作・唱歌等、軍人に関するものの内容が目立つようになるが、このことは昭和6年の満州事変や昭和7年の上海事変、昭和12年の日華事変等の勃発により戦争という国家の動きの影響を受けることになるわけである。保育草案の反省の中から拾ってみると

- ・時代を認識させ、兵隊さんへ心から感謝を捧げて元気よく行進。
- ・男の子供達の最もあこがれていた陸・海軍記念日を終えて…

- ・朝毎になす東方遙拝と共に兵隊さんありがとうの祈り…
- ・傷病兵慰問の唱歌・遊戯を練習する。
- ・時局下、万事緊縮、総てに節約しなければならない。この時局を保育の上に反映させ、よき結果を得たいと思う。
- ・みんな大事な御国の子供…
- ・敬神の念、殊に事変下における国民一致の気分に幼児ながらも強くふれ得て、その小さい胸にひびいた愛国の気持が、やがて一国を背負う御国の人となる力強い基礎となるだろう。

というような事項が反省の中に記入されている。即ち昭和10年代に入ると保育の目的は立派な兵隊や戦争に協力できる人を作るにおかれたようである。小学校以上の学校に比べれば戦争の影響は少なかったといえどもこのようなことをうかがいしることが出来る。

(2) 太平洋戦争と保育について

昭和16年12月8日、日本軍の真珠湾攻撃により太平洋戦争が始まった。そして本土に対するアメリカ空軍機による爆撃は昭和17年4月18日、京浜地区に向かつて行なわれた重爆撃によって始まったが、その後アメリカ軍による本土空爆に関する体制は、次第に強化されていった。東京をはじめ6大都市への空爆は烈しさを増していった。

別府市においては空爆は行なわれなかったが警報は毎日のように出されていた。このように戦争の影響を受けた時代の保育はどのような内容で、どのように行なわれたかを残された資料の中からさぐりたい。

資料は北幼稚園の日記で保育者が毎日記したものである。昭和18年より20年までの日記から抜粋すると次のようである。

- ・昭和18年度の日記より(北幼稚園) 1/18 大詔奉戴日

室内にて空襲警報と同時に児童の待避練習をなす。①口を開かない事、②前の人を押さない事、③目耳をふさぎ口を開ける事、④机の下に入る事、⑤窓を開ける事、以上5つを繰り返して注意をなす。

1/9 帰園練習

朝会の後、区々別々に子どもを区別なし受持ちの保姆これに当り帰園練習をなす。

1/10 訓練警報発令

午前6時10分、訓練警戒警報発令。6時30分訓練空襲警報発令。11時訓練警報解除。午前6時10分の訓練警報発令のため全児童の $\frac{1}{3}$ 登園。

12/7 会集

別府市出身友永丈市大尉、ミッドウェー島にて壮烈なる戦死をなさったお話を子ども達に聞かせ、第二第三の友永大尉が出る事を祈る。2階級進級中佐となり靖国の護りとなる。

1/25 1月中旬より2月にかけては一番寒さの厳しい時である。今年も燃料不足のため暖房装置も十分出来ないので寒さに耐え得る様訓練をしなければならぬ。縄跳び、鬼ごっこ、身体の暖まる様な戸外運動をすすめている。

2/4 紙芝居「空襲」を見せる。時局に適したマン画で園児はとても喜ぶ。

2/7 戦捷第二次祝賀記念に戦地よりマリを送って下さった。兵隊さんに感謝を致しませう。各組に5個宛与える。3人1組になり替り番につくのですよと言ってやる。大喜びで遊ぶ。

2/22 爆弾三勇士のお話をした。

3/13 長野四郎先生応召

門口にてお見送り、佐藤豊先生について名誉の御召をうけ先生を始め生徒一同感慨無量！！

昭和18年度は警報も訓練的なものだったようであるが、応召とか戦死とか戦争に関する事項が目立ってきている。

・昭和19年度の日誌より

4/19 パン配給、120個（1個10銭）

久方振りのパンを見、幼稚園最初の配給に預り園児の喜び様。何時も落ち着きのない子供も頂けるというので嬉しがりお行儀のよい事。

4/20 雨傘の配給者 3名。

5/8 警戒警報発令、空襲警報発令

5/15 草餅配給（1人3個宛 20銭）

昼からとりに来させた。朝は母親と一緒にでないと泣く、側にいないと涙ぐむ子どもも一人で取りに来る。おかしい程だ

5/20 給食費徴収 40日分 5円46銭 米八匁。

5/22 給食開始

豆ご飯と汁

5/27 海軍仮療養所の運動会参加

遊戯一もしもめだかになれるなら、僕は軍人、たけのこのこのこ徒競争キャラメルを一箱ずつもらって満足して帰った。

6/7 会集

警戒警報、空襲の場合は休園、防空頭巾、モンペを作ることを話す。

遊戯一がんばりませう勝つまでは

7/8 会集

サイパン勇士戦死についての話。がんばりませう勝つまではと兵隊ごっこの歌をうたう。

サイパン島全員戦死のお話を聞いて、子どもたちもいつになく張り切り歌も大変元気が良い。「先生もう泣かれんなあ」と泣きべそさんがいつてくる。「僕たちが大きくなって、仇をうつんやなあ」と両の目を輝かす。急に大人になった様に感じられる。

1/9 芋ほり

調べてみたらあちらこちら大変なお芋がとられている。みるたんびにとられているので今日子どもと一緒に掘った。ずい分とられた後があつて少なかった。むしても水につかったせいか、いくらむし

でも煮てもガチガチとしていてまずい。しかしみんな大喜びで、まずいお芋でも「おいしい」といって食べた。

12/23 靖国神社臨時大祭

9時15分遙拝式、大戦果のお話をしてお祝いに蜜柑2個ずつ配給。皆大喜びでニコニコして帰る。

12/24 サイパン・テニヤン急襲の話

敵飛行場を爆破、レイテ湾艦船4隻を屠る。神風特攻隊等出撃。

12/22 会集

①ルソン東方巡艦2隻撃沈。空母戦艦撃破。②大宮島沖4隻屠る。③レイテ湾輸送船4隻撃破炎上。④九州西部7・80機米襲、32機撃墜破、坂本幹彦中尉体当り。

12/27 雨傘不足

大分雨傘がなくて困っている子どもが多い事が見受けられる。何とかしてやりたい。

12/24 勤労作業

昨日防空ごうを掘った後、大きな穴が3つもあいた。今日はすみにつんである石をよいしょよいしょと運んで穴を3つ共11時近くまでかかってうめた。

12/26 手技

防毒マスク、爆弾(折紙)

12/28 大詔奉戴日なので9時より講堂に集合

12/29 会集

紙芝居「空襲」を見る。

12/30 下駄の緒立て

昨日の大雪の為、雪解けとなりぬかのみを下駄の低いのをはいているので足袋までしめり何人も火で乾かしてやった。中には下駄が無いため欠席している子どももありほんとうに可愛相である。

下駄の緒立てを毎日10足位する。先日履物店から沢山緒立てを頂戴したので大変助かり有難く感謝している。

12/28 反省

後一ヶ月にて修了し国民学校に送らねばならぬ。出席簿を書くのも終りと思へば名残りおいしい。顧みて一ケ年、戦時下

保育に心したつもりであるけど何れもこれも不足のみで相済みぬ気がする。

12/27 会集

警戒警報が鳴った時、皆さんは何うしましたか。必ず服装をつけて泣かない、お家の人の言葉を守る。紙芝居「金太郎さんの落下傘部隊」

昭和19年度は警報も発令され、戦争の影響を受けたいろいろな内容が読みとれる。食糧や他の物資の不足が園児の生活にも影響を与えている。

・昭和20年度の日誌より

12/2 会集

注意事項 ①途中注意してきつさと帰ること。②紙芝居「空襲」を見る。園内まわり 運動場、砂場、足洗、水飲場、便所、防空壕、遊び場所、畑、奉安殿を廻って注意をする。

12/3 会集

園長先生にお別れのお話をしていただく。明日より休園するため

12/4 今日から休園

12/14~12/20 家庭訪問

12/17~12/18 保姆が交替で宿直

12/28 詔書奉読式

終戦に関する詔書

12/21~12/22, 12/27~12/28 家庭訪問

12/25 今日から開園

園長先生の開園についてのお話

12/26 子どもは幼稚園がうれしくてたまらぬらしい。いくら言ってきかしても6時50分頃から来始める。

12/27 浦山保姆長靴をぬすまれる。昨日はお弁当をやられるし本当に困る。

12/29 会集

「黄金虫」 米人に対する注意。

12/30 遠足

入園して以来、初めての遠足なので、一そうたのしくすごすことが出来た。

10/5 氏神参拜, 芋の給食(10貫)

先日、鶴崎まで芋を買いに行き一度園児を喜ばせたいと思っておった。丁度15日であったので芋を蒸して園長先生とご一緒に一名3切ずつたべさせた。非常に喜んでおいしそうに、にこにこして食べた。お土産にと持って帰った子どももありお母さん方からわざわざお礼に來られた人もあった。時々こんな事と思うけど物がなく、なかなかである。

10/8 雨降りのため欠席者多し。

傘と下駄のない為と思う。2・3人友達の傘に入れてもらい素足で來た子どももいた。

10/25 会集

アメリカ兵に対しての注意 ①物をねだらぬ。②ついて廻らぬ。親に対しての言葉遣いは子どもの言葉をとりあげて注意す。

10/29 職員作業 防空壕埋め

10/15 職員会議 神棚を取りはずす

10/21 会集

占領軍に対してチューインガム、飴をくれ等言っていた幼児の例を引き注意する。洋服のくじを言はないこと。寒くなってもポツと起きてお水で顔を洗う事。

10/22 園児の食事調査

未だに麦飯を食べきらない子ども2人理由をお家の人に聞くとお腹をこはすとか。全部芋ご飯が多い。何でも食べられるよう注意をなす。

10/16 会集

水遊びをせぬこと。氷を食べぬこと。ちり紙をみんなもっていないので、ポロ布をもって來るお約束をする。

10/17 非常に寒く子どもの欠席多し。火鉢に火を入れた。

10/15 此の頃、子ども達は二分右側通行になれたらしく自然に帰り等は右側に渡って歩く様になった。

昭和20年度の4月当初より警報が毎日の

ように出されている。そして6月1日からは幼稚園は休園せざるを得なくなったようで終戦を迎え、10月1日に再開されている。久し振りの幼稚園での生活なので子どもたちのうれしくてたまらぬ様子がよくわかる。終戦後の生活もがらりと変わり、昭和20年度は保育内容についても一番変化の大きい年度である。

昭和18年から昭和20年にかけて戦局は次第に悪化し、本土空襲はますます烈しさを増して來た中での保育は大変だっただろうと思われる。

物資の不足が目立ち、食糧もままならぬ中での保育、その上警報発令に伴う子どもへの対応等保育は大きな変化をせざるを得ない状況がよく理解出来る。

保育の目標も国家主義を受けて将来りつばな兵隊になる御国の子どもを育てることに重きがおかれている。保育者や子どもたちの言動の中に時代を意識したもののがうかがえる。

昭和48年8月31日発行の別府市誌によれば、昭和12年より昭和20年までの年表の中に次第に戦局苛烈、食糧不足等が深刻な状況になっていくようすがよくみえる。(資料9)

#### IV おわりに

幼稚園令が制定され保育5項目の時代を迎えた昭和前期の特徴としては戦争との関わりが大きいことであろう。満州事変(昭和6年)上海事変(昭和7年)日華事変(昭和12年)太平洋戦争(昭和16年)そして昭和20年に太平洋戦争の終戦と20年の間、戦争の影響を色濃く受けた時期である。

保育草案や日誌の中には戦争の影響を受けた具体的な内容や子どもの姿を見ることが出来た。

保育者の保育観により保育のあり方も、ずい分と変化するものだが、戦争というものが保育者を通して子どもに与えた影響のさまざまな姿

## 資料9 昭和48年発行の別府市誌より

|      |        |  |                    |
|------|--------|--|--------------------|
| 1937 | 昭和 12年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月25日、国際温泉博覧会が開かれた</li> <li>・7月25日、大風雨、朝見川・境川等の堤防が流される</li> <li>・8月、亀川に鉄道療養所ができた</li> <li>・11月24日、朝見八幡、県社に昇格す</li> <li>・12月18日官設消防として別府市消防組常備消防部ができる</li> </ul>  | 祝辞                 |
| 1938 | 昭和 13年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月7日、イタリヤ使節団乗艦別府湾に入る</li> <li>・7月、亀川小学校現在地にうつり11月落成す</li> <li>・7月11日、内藤晴三郎6代別府市長となる</li> <li>・11月25日、別府市民読本ができる</li> </ul>   | 別府市民読本             |
| 1939 | 昭和 14年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この頃戦歿者多し、小中学校生等遺骨を出迎す</li> <li>・学校教育に武道が多くとり入れられ戦時教育が盛んになる</li> </ul>  |                    |
| 1940 | 昭和 15年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月、鶴見山御嶽権現に渡殿拝殿ができる</li> <li>・4月、亀川・朝日・石垣の三青年学校が合併する</li> <li>・この年南小学校創立60周年祝賀式をおこなう</li> </ul>  | 神社昇格願<br>南小60周年記念誌 |
| 1941 | 昭和 16年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、小学校を国民学校と改称す</li> <li>・12月八日、太平洋戦争に突入す</li> <li>・各地に報国隊結成される</li> </ul>   | 国民学校令              |
| 1942 | 昭和 17年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月、新川・亀川駅間に電車が開通す</li> <li>・9月、別府中学校焼失す</li> <li>・6月、兼子鎮雄別府図書館長となる</li> <li>・小、中学校における軍事教練が盛んとなる</li> <li>・9月25日、平山茂八郎七代別府市長となる</li> <li>・10月20日、末松借一郎八代別府市長となる</li> </ul>   | 図書館史               |
| 1943 | 昭和 18年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学徒動員がおこなわれる</li> <li>・戦勝祈願、市葬がくりかえされる</li> </ul>   |                    |
| 1944 | 昭和 19年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所は県単位に統合され別府支部となる</li> <li>・戦局苛烈…食糧不足…市民は代用食で間にあわせる</li> <li>・10月30日、学徒尚武祭がおこなわれる</li> <li>・蝗（イナゴ）の採集、供出おこなわれる 少年団一人あたり50羽以上</li> <li>・航空機用松根油を採集し供出する</li> <li>・古弘統幸公伝成る</li> </ul>   |                    |
| 1945 | 昭和 20年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月28日、待避壕点検強化さる</li> <li>・4月、大分交通株式会社成立す</li> <li>・5月、アルミ貨の全面的引替がおこなわれる</li> <li>・6月20日、学徒隊編成完了す</li> <li>・8月、降伏条件を受諾する</li> <li>・9月29日、小学校甘藷供出（蓮田校100貫）</li> <li>・占領軍先遣部隊別府に入る</li> <li>・10月11日、別府市はドングリ食糧化の通達を出す</li> <li>・10月30日、別府市長木の実の採集通達を出す<br/>(カヤ・アベマキ・ブナ・ナラ・クスギ・カシ・シイ・カシワ・トチ等)</li> </ul> |                    |

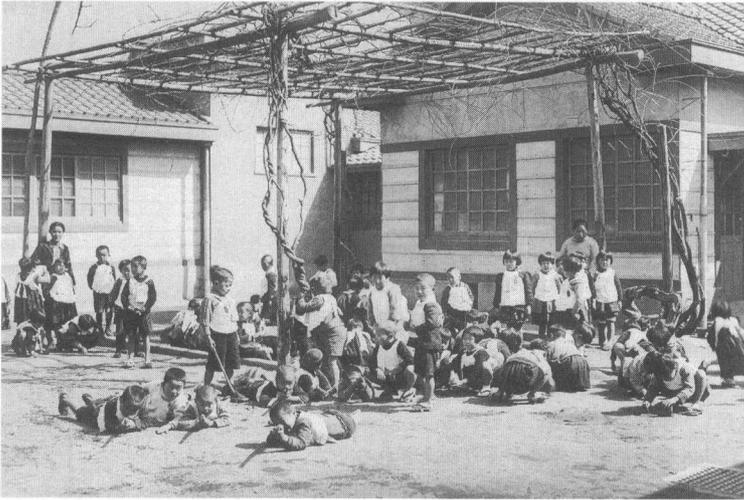
を読みとることが出来、時代的・社会的背景が保育に及ぼす影響の大なることを痛感した。

保育者の存在というものを改めて考えてみるよい機会になった。

園数は増加したが具体的な内容を知る手がかりが少ないため内容を深めることは出来なかったが、大まかな流れはつかめたようである。

#### 引用・参考文献

- 1) 日本保育学会編 1971 日本幼児保育史 第4巻 フレーベル館
- 2) 日本保育学会編 1974 日本幼児保育史 第5巻
- 3) 別府市誌編纂委員会 1973 別府市誌 別府市役所 別府市長 荒金啓治
- 4) 別府市北幼稚園保育草案 1938
- 5) 別府市北幼稚園日誌 1943～1945
- 6) 別府市西幼稚園保育草案 1938



戸外での遊び（砂場周辺）昭和16年北幼稚園